

地震 Earthquake

ブルース A. ボルト著
松田時彦・渡邊トキエ訳
古今書院(FAX: 03-3233-0303)
340ページ, A5判, 定価3,605円

この本は「地震—入門」として初版が発行されて以来13年間高校や大学の教科書として利用されさらに広い読者層に受け入れられてきた。さらにアメリカだけでなく多くの国に翻訳されて普及してきたものである。1993年の最新版の翻訳である。

一言でいえば原書・訳書ともに良書である。地球科学にそれほど素養のない読者にも読みやすく工夫されている。訳者の言葉を借りれば「この本の特徴は、近年の実際におこった多数の被害地震の諸相、とくに被害の有り様を、できるだけ普通の人の視点から描写し、防災の方法をていねいに述べていることである」と言えよう。

本書の構成は次の通りです。

- 第1章 地震の時に感じる事
- 第2章 地震はどこでおこるか
- 第3章 地震を測ること
- 第4章 地球の内部を探ること
- 第5章 大地の中の断層
- 第6章 地震の原因
- 第7章 地震の大きさ
- 第8章 火山と津波と地震
- 第9章 地震と水
- 第10章 地震に先行する現象
- 第11章 地震から身を守る事
- 第12章 耐震的な建築物

このほか付録として資料的な価値のある表が付けられ、巻末には地震クイズまである念の入れようである。すべての回答が示されているわけではないが、より理解を深めるために読者自身で挑戦されるのがよいであろう。買って損はしない本であることを保証します。
(加藤碩一)

地球—その誕生と現在

上山 弘著 裳華房
245ページ, A5判, 定価2,369円

著者は「21世紀の社会を担う人達には、文科系・理科系の別なく、地球の環境問題について必要な知識を学び、その重要性の認識に基づく新しい社会的価値観のもとで未来を望み、今後の社会・経済のあり方を考え、率先その推進者としての意義深い人生を歩んでいただきたいという願いをこめて本書を著すことにした」そうである。そのため著者自身は物理学畑の理系人間であるが、「本書は人文系の学生諸君が理解しやすいように、本文中ではむずかしい数式をなるべく用いないで記述するように努めた」ということである。

この本の主旨は広義の環境問題を理解する上で欠かせない地球、さらにそれを取り巻く太陽系空間を

含めて様々な観点から紹介しようとしたものである非常に多くの小見出しがあり、その全部を紹介することはできないがおもな章立ては次の通りである。

- 1. 地球という惑星
- 2. 人間活動と地球
- 3. 太陽系の起源
- 4. 変動する地球
- 5. 太陽活動と地球

著者の該博な知識に驚くが、この授業を受ける学生は相当勉強しないとその全容をつかみきれないだろうと同情する面もある。分かりやすく書いてあるが、対象が広範なためやや散漫な感じを受ける個所や事実を羅列していかえって基礎知識がないと理解しにくい点があるのが惜まれる。これはとくに4章のような地球科学的な(多分著者の狭義の専門分野以外であろうが)分野の解説に目立つ。しかし、全体として教養の学生の参考書や教科書としては十二分に利用しうる好著であるといえよう。

(加藤碩一)